



神根小だより

12月号

令和6年12月2日

川口市立神根小学校
在籍児童274名16学級



教育の成果とピグマリオン効果

校長 篠崎 弘敬

11月20日、21日には6年生と日光方面に修学旅行に行っていました。6年生にとっては、2回目の宿泊行事です。昨年の大貫海浜学校から約1年半、6年生の成長を見ることが私の楽しみでした。出発式では、「6年生がどれだけ成長したかを見られることを楽しみにしています」と挨拶をしました。6年生の児童は私の期待を裏切らず、成長した姿を見せてくれました。しおりを良く読んで時間を守り、集団行動ができました。公共の場におけるルールやマナー等望ましい態度で行い、大変立派でした。学校生活での廊下歩行、全校集会の態度の良さ、授業中の集中力等が自然に出ていました。まさに「学びを修める」ための旅行になりました。

6年生の保護者の皆様には、修学旅行における準備や子供たちの体調管理等で大変お世話になりました。防寒対策なども含めしっかりやっていただいたおかげで、6年生は2日間無事に過ごし実りの多い学校行事になりました。

修学旅行中、6年生の成長を噛みしめている際、学生時代に習った心理用語「ピグマリオン効果」を思い出しました。ピグマリオン効果とは他者から期待を受けることで、その期待に沿った成果を出すことができるという心理効果のことです。

6年生の行動は、まさに心理効果が働いていたといえるでしょう。人は誰かに期待されることでやる気になり頑張ります。負担にならない程度に期待をかけ褒め励ますことの大切さを再認識しました。また、「ピグマリオン効果」は、自分自身のやる気の維持にも活用することができます。前向きな言葉を発信したり目にしたりすることによって、「ピグマリオン効果」が働き、目標への達成意欲を高められます。自分の可能性に期待するような前向きな言葉を発信したり、紙等を書いて目につくところに記したりしておくことで、良い結果を出すことができます。12月は校内持久走記録会、3年生、5年生の校外学習があります。1月には、4年生の校外学習が控えております。期待をかけ心理効果の作用も頭に置き、教育活動を行っていきます。早いもので令和6年も最終月になりました。保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりました。今月もどうぞよろしくお願いたします。

【修学旅行】

スリッパの整頓ができています



【校外学習】

学年としての目標を掲げ指導をしています

